

患者氏名 \_\_\_\_\_ 様

鹿児島大学病院

## 血液検査で B 型肝炎ウイルス陽性が判明した患者さんへ

今回血液検査で B 型肝炎ウイルス陽性が判明いたしましたのでお知らせいたします。

B 型肝炎は B 型肝炎ウイルス (HBV) が血液・体液を介して感染して起こる肝臓の病気です。今回行った検査は HBs 抗原の血液検査でありこれは HBV の感染を調べるために行います。

HBV は一過性の感染に終わるもの (一過性感染) とほぼ生涯にわたり感染が継続するもの (持続感染) とに大別されます。大部分の感染は、母親からの出産時に HBV が体内に侵入することにより起こります。感染した 10-20% の人は慢性肝炎 (持続感染) へと移行し、その中から肝硬変、肝臓癌になる人も出てきます。また体の抵抗力 (免疫力) が低下するような、免疫抑制剤や抗癌剤治療中に持続感染を起こすことがあります。

持続感染している HBV は基本的に完全排除することは出来ません。しかし比較的小となしい HBV に変えることを目的としたインターフェロン療法や直接薬の力で HBV の増殖を抑えて肝炎を沈静化させることを目的とした抗ウイルス療法が用いられることがあります。このような治療の適応については専門医の診断が必要ですので、精査を行う予定です。

ご不明な点は、担当医師にご遠慮なくおたずねください。

説明日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

説明担当者 所属 \_\_\_\_\_ 名前 \_\_\_\_\_